

平成30年度 農林水産業版タウンミーティング（農業版：浪岡地区）会議概要

日 時：平成30年8月8日（水）18：00～19：30

場 所：市役所浪岡庁舎 2階 大会議室

参加者数：14名

市側出席者：市長、浪岡区長、農林水産部長、農林水産部次長、農林水産部参事（あおりり産品支援課長事務取扱）、農業政策課長、農地林務課長、農業振興センター所長、農業委員会事務局次長、農業委員会事務局分室長

■主なご意見・要望等

○りんご黒星病が大発生し、治療効果のある薬剤が無いため、予防のための薬剤散布回数が増えている。また、生産力の低下により、農家の経営に大きな打撃が予想される。行政としての支援対策を考えているのか教えてもらいたい。

⇒りんご黒星病については、関係市町村と連携して、新規薬剤の早期登録、効果的な防除体制の確立などについて、国、県に要望している。今後は、市独自の調査を行い被害状況の把握に努めるとともに、県や農協等と連携を図りながら、適時・適切な薬剤散布の実施や黒星病に感染した葉や果実の処分など、地域ぐるみでの防除対策の徹底について呼びかけていく。また、効果のある薬剤の研究・開発等について、関係機関と連携しながら、引き続き要望していきたい。

○大杉地区は、ほ場整備後年数が経過しているため、整備された水路が老朽化で破損したり、水路整備がされていない区間では水路脇の土砂が崩れ、流れに支障が出ており、草刈や浚渫などの維持管理作業が難しくなっているため、水路整備をお願いしたい。

⇒大杉地区は古くにほ場整備が実施された地域で、要望内容が大杉地区全域の面積 50ha 以上、水路延長は 2,000 メートルを超えるような大きな規模になっているため、整備については国の補助事業である「ほ場整備事業」を活用し、農道や水路、ほ場の区画整理を含めた一体的な整備が有効と考えている。

そのほか規模が小さい個別要望（補助事業の要件を満たさないもの）については「農業基盤改良事業」、「農業土木工事支援事業」で対応することになるので、ご連絡いただければ、担当課の方で現場を確認させていただきたい。

○小沢地区のため池は土砂が溜まり耕作に必要な貯水量が不足しているため、浚渫をお願いしたい。

⇒ため池は農業用水を確保するために欠かせない設備であり、灌漑期を過ぎた秋以降に一旦ため池の水を抜かせていただき、土砂の堆積状況、用水がどの程度不足しているかなどを調査したうえで、対応が必要と考えられる場合については、市の方でどのような支援ができるか等、検討していきたい。